

令和6年3月15日（金）（R5第49号）

気が付けば3月も半ば。卒業式が迫ってきました。毎年のことですが、時の流れの速さに驚くばかりです。現在、卒業式に向けて、卒業生である6年生はもちろん、在校生代表の4・5年生も練習に打ち込んでいます。練習を重ねるごとに返事や歌声が素晴らしいものになっています。3月19日の卒業式が楽しみでもあり、寂しくもあります。良い天気の下で卒業式ができますように。

3月8日（金）には、6年生から5年生に松ヶ丘小学校の大切なものを引き継ぐ「引き継ぎ式」を行いました。校旗、運動会の優勝旗、委員会・クラブ活動・ゆりのき活動のファイル、陸上大会・球技大会のユニフォーム、そして『来年の松ヶ丘小学校を頼んだよ』という思いも含まれていたことでしょう。緊張感のある素晴らしい式でした。こうやって卒業生から在校生にバトンは渡され、松ヶ丘小学校の伝統はさらにつくられていくのです。新6年生の松ヶ丘小学校のリーダーとしての活躍を期待します。

話は全く変わります。

皆さんもニュースで耳にしていると思いますが、漫画家の鳥山明氏が亡くなりました。私はそれほど漫画に詳しくないのですが、「ドラゴンボール」だけは特別で、大学生のころ週刊誌に掲載されていたこの作品を毎週ワクワクして読んでいました。主人公も強敵に出会うとワクワクしていたのと同じように。

子どもたちに絶大な人気を誇っていたこの作品と私の就職の時期が一致。この話題を着任の挨拶に使わない手はないと考え、次のように話をしました。

みんなドラゴンボールって知ってる？主人公の孫悟空は強いライバルに出会うとワクワクするんだ。先生も同じ。皆に会えてとてもワクワクしています。一緒にたくさん遊んで、たくさん勉強しましょう。ワクワクしている吉田先生です。よろしくお願ひします。

思い出すととても恥ずかしいのですが、子どもたちには受け入れられたようで楽しく教職人生を始めることができました。

作品に話を戻すと、宇宙にまで舞台を広げたシリーズは特に面白く、次号が楽しみで仕方がありませんでした。

授業において、それができないか。「先生、この授業の続きやりたい。」と言わせることはできないか。自分なりに努力を重ねましたが、なかなか難しかったです。ライバル（ドラゴンボール）があまりに強敵だったので、勝てる見込みはなかったけれど、子どもをワクワクさせる授業を作ろうと努力したことは、大いに私を成長させました。

こんなことを書いていたら、TARAKOさん（ちびまる子の声優）の訃報が飛び込んできました。お二人のご冥福をお祈りします。